

北アルプストレイルプログラム（仮）

北アルプスの登山道を 未来につなごう

実証
実験中!

【槍穂高・
常念山脈エリア】

いま、登山道の維持が危機に瀕していることをご存じですか？

北アルプス南部地域では、利用者の方に登山道の現状を知って頂き、登山道を維持していく新たな制度を検討しています。

検討の一環として、登山道維持のために利用者の皆様から任意の寄付金を募る取組を実施しております。

今後も安心・安全な登山を楽しんで頂くために、ご寄付やアンケート回答へのご協力をお願いします。

- Webサイトから、寄付金へのご協力をお願いいたします
(オンライン決済)
- アンケートより、今回の取組に対する皆様のご意見をお聞かせ下さい
- 検討の経緯や取組の詳細について情報を発信しております



<http://ur2.link/XvUk>

【実施期間】

2021年9月18日（土）から10月18日（月）まで

【対象者】

- ① 槍穂高連峰、常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する方（右図赤線の範囲）
- ② 取組にご賛同頂ける全ての方

【実施主体】

北アルプス登山道等維持連絡協議会

【実施体制】

頂いた寄付金は協議会が管理し、協議会が実施する登山道維持の資金として活用させていただきます。

※頂いた寄付金により登山道の利便性や安全性、整備水準が現状より向上するものではありません。

登山道維持の詳細は裏面へ



【問い合わせ先】環境省上高地管理官事務所（検討主体） ※受付時間 9:00～16:00（土日祝日除く）
〒390-1516 長野県松本市安曇4468 TEL:0263-95-2032

Q. 「登山道の維持が危機に瀕している」とはどういうこと？

A. 北アルプス南部地域には複数の登山道が存在します。登山道の維持は、行政機関だけでなく、民間の山小屋が収益の一部を持ち出す形で、毎年の維持作業（倒木の撤去等）や大掛かりな補修作業（木道の更新、石積み等）を実施してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症流行や大雨による被害など、さまざまな社会環境変化や自然環境変化の影響により、これまでの体制による登山道の維持が困難になっています。

～山小屋による登山道維持の様子～

登山道の雪切り
(槍沢～槍ヶ岳)

施工前



施工中



石組による補修
(上高地～西穂高岳)

施工前



施工後



土砂崩れの復旧
(横尾～槍沢)

施工前



施工後



ハシゴ修繕
(岳沢～前穂高岳)

施工中



※写真提供：北アルプス山小屋友交会

Q. なぜ寄付が必要？

A. 当エリアの山小屋や関係行政機関で構成する北アルプス登山道等維持連絡協議会の令和2年度決算書によると、約1,600万円の歳入に対して、歳出は約2,700万円となっています。不足する費用分は、山小屋の収益から持ち出すことによって補われています。

まずはこのような費用負担を軽減するため、利用者の皆様から寄付金をいただく取組を実験的に行っています。

※右の図に示されている事業費はほとんどが単純な人件費であり、工具や労働スタッフの宿泊費用といった経費は別に負担されています。

繰越金 約200万円 寄付金 約300万円 <hr/> 負担金 約1,100万円 (松本市、安曇野市、北アルプス山小屋友交会等が供出)	事業費 (大規模な補修工事) 約1,200万円 (例：石組みのやりかえ、災害復旧など)
事業費 (通常の維持管理) 1,500万円 (例：雪切り、倒木処理など)	
歳入計 約1,600万円	歳出計 約2,700万円